

④水道分野の国際貢献の推進

【水道関係団体による国際貢献の動き】

○水道国際貢献推進協議会(JIP-WATER)

平成19年4月 水道事業体、民間企業、コンサルタント、関連団体など、すべての水道関係者が一同に会し、世界における持続可能な水管理に資するべく、水道運営の一層の発展につながる議論を行う場として、設置

- MDGsの達成を可能とする技術や運転管理のノウハウを蓄積したそれぞれの参加者とのパートナーシップの形成によって、アジア太平洋地域における水供給システムの発展、改善に貢献

事務局

(社)日本水道協会

(社)日本水道工業団体連合会

(財)水道技術研究センター

オブザーバー

厚生労働省水道課

○(社)日本水道協会

平成20年6月 水道の安全保障に関する検討会の設置

- 今後の日本の水道事業のあり方及び今後の国際活動のあり方について検討(年度内に報告書取りまとめ)

○(社)日本水道工業団体連合会

平成20年4月 水道産業戦略会議の設置

- 5月「水道産業の国際展開に向けて」緊急提言
- 10月に本会議最終報告書の「水道産業活性化プラン2008」策定

平成20年10月 チーム水道産業・日本の設立

- 水道産業界の総意を集結し、水道産業界による国際貢献、水ビジネスを推進する戦略機関

